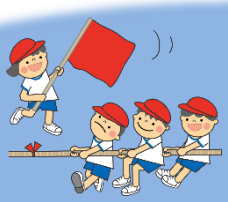
コミュニティ・スクール
三鷹の森学園 CS だより
第14号
～地域は学校を支え、学校は地域を結ぶ～
平成二十四年 十月
学園長 萩野 幹夫
会長 石井 章夫
編集 CS広報部

三鷹の森の健全育成

三中　小学校運動会ボランティア



三中
災害ボランティア

飛び出せ地域へ

「わからないことはないですか？」と声をかけながら、三角巾の使い方を教える災害ボランティアの中学生たち。「何がいい？」と小学生の目線まで下がって注文を聞く東児童館夏祭りボランティアの生徒たち。小学校での地域清掃やコミセンまつりでの歌の披露など小学生の時に、地域のみなさんに「ありがとう」と言われた経験の積み重ねが今の三中生につながる。

早朝歩く会
ボランティア

小学校で読み聞
かせボランティア

震災復興募金活動

三中
クリーン作戦

ボランティアの扉

三鷹の森学園　副学園長
第三中学校　校長　賞雅　技子

平成7年阪神大震災以後、日本社会にもボランティア活動という言葉が定着した。その2年後には、福井県沖でロシア船ナホトカ号が座礁し、美しい日本海岸での原油漂着の折には、どれほど「後方支援」が重要かを学んだ。この時にはボランティアの人たちが厳寒の日本海での作業で亡くなるという痛ましい事例も残った。更にその後、都立高校では、ボランティア活動を教育課程に組入れ、第1学年で18時間の履修を必須とした。

そのような中、東日本大震災が起き、津波の被害により道路・鉄道が寸断され、ボランティアが現地に入れない状態がしばらく続いた。この震災では、地震による被害が少なかったものの首都圏の交通がマヒして、帰宅困難者の受け入れという新たな課題が生まれた。

我が三鷹の森学園では、CSの地域部や三鷹の森学園健全育成部などの支援もあり、短い間に、中学生による地域での貢献活動が定着してきている。

私は、4月以来、朝礼講話で計３回ボランティア活動に対する期待と価値について話してきた。例えば、ボランティアとは何かを考えてほしいということ、ボランティアが機能するためには、個人が経験を重ね、自立して判断し、相手の立場に立って最後まで行うことが大切であること。あるいは、困難な場面でも、ほんの数分の手助けでも、「○○してあげた」等と言わないこと、などである。

Volunteerの意味のとおり三中生には、様々なことに「志願して」参加してほしい。志願する以上は、ほめ言葉やお礼を求めず、力を貸した人々の笑顔や満足によって、自分の活動を自分で評価してほしいと思う。

中学生として真に自立して、ボランティア活動に参加し、将来はグローバルな活躍ができる人間を育成する三鷹の森学園第三中学校でありたい。

三鷹の森の
7～9月

三鷹の森の実り

地域のみなさまに見守られながら、こんなに
生き生きとまっすぐに成長しています

8/24 サマーコンサート In 高山小学校

三中吹奏楽部、高山小吹奏楽部、五小音楽クラブが合同で行い、たくさんの地域の方が聴きにきてくださいました。

8/25・26 レタス販売 In いなげや・サミット

6年生が自然教室で苗植えしたレタスを高山小の子どもたちがスーパーで販売のお手伝いしました。

9/7 小学校水泳交流会 In 高山小学校

五小、高山小の6年生が合同で記録会を行いました。対抗リレーも行われ、大歓声で盛り上がりました。

9/24 昔遊び体験 In 第五小学校

2年生が地域の方にけん玉やコマ、おはじきなどの遊びを教えていただきました。高山小でもこれから同様の授業を行います。

6/28 児童生徒会 交流会議 In 第三中学校

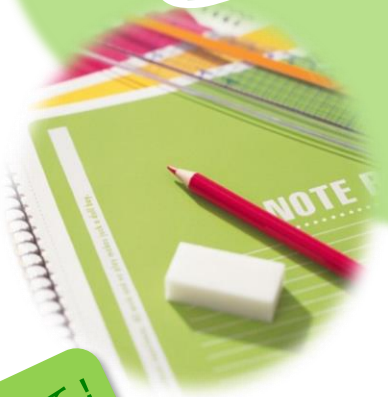
三校の児童会、生徒会の子どもたちが、あいさつ運動や募金活動などについて情報交換をしました。

8/27・28 部活動体験 In 第三中学校

6年生が中学校の部活を体験しました。

Mitakanomori
Coming soon!

来て見て三鷹の森



見て確かめて！
三鷹の森の
小・中一貫教育

三鷹の森学園では、「自ら考え表現する力の育成～言語活動の充実を図った9年間の授業～」をテーマに、学園研究を進めています。

今年度は三校の先生方が国語、算数・数学、理科、英語、体育・保健体育、道徳、教育支援の7分科会に分かれ、研究授業を中心に、日々の授業を改善すべく、実践を続けています。どうぞ、公開日には学校に足を運んで、授業をご覧ください。

10/20　道徳授業公開
五小・高山小
10/18～20学校公開三中

三中生も母校の運動会をボランティアとして応援！

10/13
高山小運動会

大好きな井の頭公園をきれいに！地域の方々と一緒に清掃します

11/8
五小全校清掃
In　井の頭公園

地域の皆様も一緒にどうぞ

10/20
道徳地区公開講座
五小・高山小・三中

五小　　6時間目　三好良子先生
「怒りのコントロール～堪忍袋を大きくするレシピ～」
高山小　4時間目　張江幸男先生
「海外の子育てに学ぶ」
三中　　3時間目
「職業人の話を聞く会」
谷島聡さん
細田尚子さん
石田康裕さん

日頃の感謝をこめて・・・
学園を色鮮やかに！

12/7
花いっぱい運動
五小・高山小・三中

誕生！三鷹の森学園コミュニティ・スクール実行委員会

第4回コミュニティ・スクール（ＣＳ）委員会で実行委員会の発足が承認されました。漢検・英検、ソフトバレーボール、花いっぱい運動などのＣＳが取組む活動に、よりフットワーク軽く多くの方に関わっていただこうという思いから、第１号の実行委員会「漢検・英検実行委員会」が誕生しました。これからも子どもたちのために楽しく活動できるような実行委員会がたくさん生まれますように。

尾﨑晴美　堀　典枝　伊丹弥生子　中塚珠恵

漢検・英検実行委員のみなさん

村松文恵　中村かおる　山田晶子　岩科道子

コミュニティ・スクール実行委員会は子どもと子ども、学校と学校、小学校と中学校をつなぐ架け橋です。

三鷹の森の先生たち

三鷹の森学園は三鷹市教育研究協力校になりました！

「自ら考え表現する力の育成～言語活動の充実を図った9年間の授業～」をテーマに研究をすすめています。

生き生きと楽しそうに授業を行う三鷹の森の先生方。いつまでもそうあり続けてもらうためにも、学校―家庭―地域が一体となって、子どもたちを育てていきましょう！

開園4年目の三鷹の森学園。先生方の連携は年を追うごとに密になっていると感じます。今年度の授業交流は、三中から体育科と英語科の先生が小学校に、小学校からは少人数算数の先生が三中の数学授業支援に入っています。その他の授業や自然教室、水泳交流会などでも連絡を取り合い、連携を図っています。それは子どもたちにも波及し、学園全体の一体感を生み、9年間の学びをよりスムーズにしています。
がんばれ！三鷹の森の先生たち！

あいさつ運動～五小の取組み～

代表委員会が中心になって行っているあいさつ運動。6年生全員が東門に並びます。下学年の子どもたちも自主的にかかわり、その光景はすっかり五小の風物詩となりました。今回からお手製の横断幕も登場し、あいさつ定着への挑戦は続きます。